

オムロンがプレーオフへ、Hondaは車体破る貴重な星

～第31回日本ハンドボールリーグ第14週～

第3回日本ハンドボールリーグ第14週は2月10、11日に男子5試合、女子3試合が行われ、女子はオムロンがHC名古屋に順当勝ちして10勝目をあげるとともにレギュラーシーズンの3位以内を確定、プレーオフ出場権を握った。またソニーセミコンダクタ九州は広島メイプルレッズに快勝して2位に浮上。再開の男子では大同特殊鋼、湧永製薬、大崎電気の上位陣が危なげなく勝利を飾った一方で、8勝5敗同士のトヨタ車体 Hondaの対戦は、Hondaが1点差で逃げ切ってプレーオフ進出へ貴重な白星をマークした。

約2ヵ月間のブレイクが解けた男子で最も注目されたのは愛知でのトヨタ車体 Honda戦。試合は予想どおり1点を争う白熱戦となり、Hondaが谷口の巧みなコントロールで主導権を握ろうとすれば、車体も持ち前のパワーとスピードで応戦。Honda・四方、車体・木下の両GKによる好セーブもあってスリリングな攻防が続き、12-10とHonda2点リードで前半を終了した。後半に入ってもHondaの先行が続いたが、10分過ぎにHondaの連続退場に乗じて車体が17-17と同点に追いついた。その後一進一退が続く中、ドラマが待っていたのは残り1秒、Hondaが小倉のミドルシュートで1点勝ち越したあと、車体の7人攻撃を必死のDFでしのぎ、そのままタイムアップの笛を聞いた。



プレーオフ進出へ貴重な白星をマークしたHonda(写真は谷口)

単独トップに立つ大同は攻撃ミスが目立ったものの、富田らの活躍で格下のトヨタ自動車を相手に39-22と大勝。湧永も小藪のフェイントプレーから浜本のサイド、山口のポストなどで開始早々からトヨタ紡織を圧倒、中盤以降も確実に追加点を積み上げて前半17-8と大量リードを奪い、余裕の試合運びで2位の座を守った。大崎 Honda熊本戦は、単調な攻撃を繰り返す熊本に対し、宮崎らの活躍で徐々にペースアップした大崎が13-8で折り返し、後半に入っても故障欠場した豊田の代役・森本もよく機能し、時間とともに点差が広がった。北陸電力 豊田合成は、前半12-13と1点ビハインドを背負った北陸電力が、高橋、神田の連続速攻で逆転すると、その後も桜井のミドル、落合のポストなどでたたみかけ、29-21で3勝目をマークした。

女子はオムロンがHC名古屋を相手に前半15分までに9-3と先行。その後も余裕あふれる展開でゲームを進め、18-11と7点差をつけて折り返した後半も堅い守りから連続速攻に持ち込む展開で圧勝した。

ソニーメイプルレッズ戦は、後半8分に金鎖順の7点目のゴールでメイプルレッズが20-17と3点リードしたが、ソニーは1分を過ぎたあたりから金にマンツーマンDFを仕掛けてメイプルレッズのリズムを崩しにかかり、26分に長野のロングで32-31と逆転に成功した。これで勢いづいたソニーは残り4分足らずの間に郭恵静、高栖らが5点を奪う鮮やかなラストパートで2位浮上に成功した。

北国銀行 三重花菖蒲戦は、北国が三重の引き気味のDFを攻めあぐね、後半2度のパワープレーのチャンスも三重GK・橋本の好守に阻まれるなど苦戦が続いた。しかし、トップDFを出して三重の攻撃の寸断を図り、ミドルシュートなどで3得点をあげた武井の活躍などで辛うじて北国が1点差で逃げ切った。

第15週の日程

- 2月17日(土)・愛知・大同工業大学石井記念体育館(名鉄常滑・河和線大同町駅徒歩5分) 13:00~(女)HC名古屋×ソニーセミコンダクタ九州
15:00~(男)大同特殊鋼×豊田合成
- ・三重・四日市市中央緑地体育館(近鉄線四日市駅からバス/中央緑地公園前、下車徒歩10分) 14:00~(男)Honda×大崎電気
 - ・広島・東区スポーツセンター(アストラムライン線牛田駅徒歩2分) 14:00~(女)広島メイプルレッズ×三重花菖蒲
 - ・熊本・人吉スポーツパレス(JR肥薩線人吉駅徒歩5分) 14:00~(男)Honda熊本×トヨタ自動車
 - ・宮崎・小林市市民体育館(JR吉都線小林駅徒歩5分) 18:00~(男)トヨタ車体×湧永製薬
- 2月18日(日)・山口・岩国市総合体育館(JR岩徳線川西駅徒歩10分) 13:00~(女)北国銀行×オムロン
- ・佐賀・トヨタ紡織九州クレインアリーナ(JR長崎本線神埼駅徒歩10分) 14:00~(男)トヨタ紡織九州×北陸電力



大崎電気・森本

第15週のみどころ

第15週は2月17、18日、男子が5試合、女子が3試合行われる。
 男子は第14週ですでにプレーオフ進出を決めている大同特殊鋼、その大同を懸念に追う湧永製薬、大崎電気が順当勝ち。4枚目のプレーオフ出場キップを争う直接対決で、ホンダがトヨタ車体を1点差で破った。
 第15週もこのホンダとトヨタ車体の動向が焦点。大一番で勝利したホンダは17日、地元の三重で大崎電気と対戦。一歩リードしたホンダは勢いづいて大崎も破れば、さらにプレーオフに近づく。一方、痛い星を落としたトヨタ車体は同日、宮崎で湧永製薬と対戦する。トヨタ車体もこの正念場で湧永を倒せば再び道が開ける。昨年末の全日本総合3回戦では湧永に快勝している実績、自信があるのもプラス材料となる。
 もちろん、両者の挑戦を受ける大崎、湧永もプレーオフでの戦いをにらみ、そうやすやすと道を譲ることはあるまい。三重、宮崎では熱い火花が散ること必至だ。また、わずかながら4位以内に可能性を残すトヨタ紡織の戦いぶりにも注目したい。
 女子は北国銀行の激しい追撃を受けていたソニーセミコンダクタ九州が、第14週で広島メイプルレッズ打倒に成功。態勢を立て直した。
 北国銀行にとってはまた厳しさが増したものの、18日、山口で首位を走るオムロンと対戦。全日本総合準決勝では女王を土俵際まで追い詰めているだけに、全精力を結集して生き残りを図りたいところだ。

2月10日(土) 男子1部 埼玉・戸田市スポーツセンター	
大崎電気 30 (13-8) 11勝0分3敗	ホンダ熊本 17 4勝0分10敗
<1/3> K 浦和 松延 K 1/3 前川 大宮 4/8 2/5 中田 上田 0/1 0/0 佐藤 本多 3/3 2/3 永島 若松 1/9 3/6 岩本 井上 0/0 2/2 2/4 森本 松本 2/8 3/4 2/3 太田 大井 4/19 0/1 酒井 池辺 0/0 <0/1> K 濱口 大園 0/0 3/4 東 松岡 K 1/1 3/4 内田 3/7 猪妻 6/11 宮崎	
3/3 27/51 審判(仲田・植村)	21(FPP)8 観客 827人

2月10日(土) 男子1部 福井・北陸電力福井体育館フレア	
北陸電力 29 (12-13) 3勝0分11敗	豊田合成 21 3勝0分11敗
<0/2> K 西田 大立 K <0/1> 5/7 高橋 飛田 2/4 7/14 神田 原 2/5 2/2 4/6 落合 坂 0/0 1/1 6/10 桜井 高橋 0/0 1/3 前田 野谷 0/0 2/3 高田 田中 0/0 2/5 杉山 桑田 3/7 0/0 北大村 植村 2/3 1/1 大谷 佐藤 2/5 0/0 表 藤村 3/3 K 安藤 酒河 0/0 0/1 有江 中島 0/0	
1/1 28/50 審判(浜野・阿部羅)	13(FPP)5 観客 189人

2月10日(土) 男子1部 愛知・東海市民体育館	
ホンダ 25 (12-10) 9勝0分5敗	トヨタ車体 24 8勝0分6敗
4/4 中谷 木下 K <1/2> 0/2 鶴見 田中秀 0/0 2/2 2/6 柳本 瀬野 0/0 0/0 河竹 藤田 1/3 0/0 竹野 藤田 1/1 5/12 横地 近藤 1/1 0/0 青山 北出 1/7 6/14 谷口 長谷川 1/2 2/3 0/0 野嶋 鶴谷 3/4 1/2 阿部 井 K <0/3> K 吉香 川 3/6 4/4 3/11 小倉 崎前 3/3 <0/4> K 四小 沢 0/0 山 6/19	
4/5 21/51 審判(池淵・檜崎)	12(FPP)18 観客 970人

2月10日(土) 男子1部 愛知・東海市民体育館	
大同特殊鋼 39 (20-11) 14勝0分0敗	トヨタ自動車 22 0勝0分14敗
<0/2> K 荻田 三上 0/4 3/7 服部 岩田 0/0 1/2 5/8 末松 厚沢 1/3 6/7 浦田 大塚 1/1 0/5 富田 坂口 0/0 2/2 地引 栗崎 2/2 4/11 武田 中田 0/0 6/8 大田 倉田 1/2 <0/1> K 高木 佐藤 K <1/1> 1/1 千々波 澤田 0/1 0/0 東 福本 K <0/1> 0/0 山本 光増 2/7 2/2 4/5 岸川 福田 6/16 2/3 渡久川 山 6/11 1/1	
1/2 38/57 審判(坪井・河合)	11(FPP)11 観客 1010人

2月10日(土) 男子1部 広島・東区スポーツセンター	
湧永製薬 34 (17-8) 12勝0分2敗	トヨタ紡織九州 22 6勝0分8敗
<0/1> K 志水 中畠 2/10 3/5 下川 高山 0/0 2/2 浜本 村上直 0/0 2/3 山中 植木 1/1 2/3 福田 村上秀 2/8 2/2 吉田 呉相民 5/16 3/4 小藪 佐久間 1/3 4/4 2/7 東 鶴田 0/0 2/3 新谷 川 K 1/2 武藤 松野 K <0/4> <0/1> K 松村 朴正鎮 6/6 5/6 古家 藤山 0/5 2/2 2/3 渡辺 船山 0/1 4/5 山口 泉 3/5	
4/4 30/45 審判(武智・東福)	6(FPP)7 観客 723人

2月10日(土) 女子1部 熊本・山鹿市総合体育館	
オムロン 41 (18-11) 10勝1分1敗	H C 名古屋 17 1勝2分9敗
<0/2> K 勝田 近藤 K <1/6> 4/5 水野 中村 0/0 3/4 安心院 藤 5/10 1/1 9/10 許順栄 宮田 0/2 2/3 西本 菅 1/6 7/8 3/4 吉田 羽出重 1/1 4/4 佐久川 秋山 3/5 0/1 坂元 本澤 3/8 1/1 5/7 洪廷昊 高橋 0/0 K 藤間 家城 K <0/2> 2/2 城内 水野 2/4 0/1 巻 1/1 高田 1/3 東濱	
7/8 34/45 審判(金子・児玉)	2(FPP)9 観客 750人

2月10日(土) 女子1部 鹿児島・ソニーセミコンダクタ九州(株)体育館	
ソニーセミコンダクタ九州 37 (14-14) 9勝0分4敗	広島メイプルレッズ 33 8勝1分4敗
K 中島 高森 K <1/7> 1/1 7/14 郭惠静 土屋 4/6 6/10 長野 樹山 0/0 5/7 田中 大前 4/6 0/0 石崎 林五郎 2/5 1/1 工藤 菅野 6/11 4/5 亀山 坪井 0/0 6/9 高栖 伊藤 0/0 0/0 出坂 坂口 7/10 5/6 0/0 千葉 安齋 0/0 <0/2> K 飛田 石山 0/0 0/0 佐師 金順順 8/18 2/2 2/4 寺田 江頭 K 0/0 東	
6/7 31/50 審判(家永・福島)	12(FPP)10 観客 539人

2月11日(日) 女子1部 石川・小松総合体育館	
北国銀行 19 (11-11) 7勝0分5敗	三重花菖蒲 18 0勝2分12敗
<1/2> K 木澤 橋本由 K <0/1> 1/2 山住 桂 4/4 0/4 上町 石黒 0/1 2/3 宮前 宮下 2/4 1/1 3/6 中村 澤田 2/4 1/1 新田 須藤 0/0 1/1 小野澤 白崎 0/0 0/1 0/0 横嶋 伏見 0/3 1/1 0/3 野路良 橋本寛 2/2 6/8 武井 星野 4/4 K 田代 小川 0/0 2/3 0/0 棚原 伊藤 3/10 0/1 井上 森田 K <1/3> 2/4 若松 吉澤 0/0	
3/4 16/33 審判(阿部羅・浜野)	5(FPP)13 観客 539人

選手・役員登録情報	
大崎電気	
20 望月 孝太郎 1984.07.15	190cm 90kg 右
名古屋第一高 中部大	
2月13日より出場可能	
広島メイプルレッズ	
6 植垣 暁恵 1984.07.25	172cm 64kg 右
大浜中 宣真高 大阪教育大	
12 壺々 知佳 1988.09.18	171cm 65kg 右
大久保北中 夙川学院高	
17 新城 明奈 1983.09.10	164cm 58kg 右
那覇中 那覇高 福岡教育大	
2月19日より出場可能	

プレーオフ日程表

月・日(曜)	開催地	会場	組み合わせ	TVKテレビ放送予定
3月17日(土)	東京	駒沢体育館	13:00~ (1) 女子・プレーオフ準決勝 (通算2位) vs (通算3位)	16:35~17:50
			15:00~ (2) 男子・プレーオフ準決勝 (通算1位) vs (通算4位)	18:30~20:55
			17:00~ (3) 男子・プレーオフ準決勝 (通算2位) vs (通算3位)	
3月18日(日)	東京	駒沢体育館	13:00~ 女子・プレーオフ決勝 (通算1位) vs (1) の勝者	19:00~21:50
			15:15~ 男子・プレーオフ決勝 (2) の勝者 vs (3) の勝者	

<入場料金>

券種	前売券	当日券
アリーナエリア	2,300円	2,500円
一般	1,800円	2,000円
大学生	1,000円	1,300円
中高生	800円	1,000円
中高生5名券	3,000円	-
小学生以下	無料(但し、前売り券アリーナエリアを利用の場合は2,500円)	-

前売入場券は「チケットぴあ」にて販売中。
 ・チケットぴあ:Pコード:808-725
 ・チケットぴあ販売所もしくはコンビニエンスストア(ファミリーマート、サークルK、サンクス)内にある端末機で購入できます。

<テレビ中継>

男女:準決勝・決勝 計5試合(TVK・テレビ神奈川による放映)

男女個人賞レース 第14週終了

《男子》

《女子》

得点王

1 神田 友和 (北陸電力)	100点	(14試合)	1 田中 美音子 (ソニー)	94点	(13試合)
2 李 才 佑 (大同特殊鋼)	98点	(13試合)	1 郭 惠 静 (ソニー)	94点	(13試合)
3 門山 哲也 (トヨタ車体)	97点	(14試合)	3 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	76点	(11試合)
4 東 慶 一 (湧永製薬)	94点	(14試合)	4 吉田 祥子 (オムロン)	63点	(12試合)
4 松本 博文 (ホンダ熊本)	94点	(14試合)	5 土屋 友美 (メイプルレッズ)	61点	(13試合)
6 大井 守 (ホンダ熊本)	84点	(14試合)	6 佐久川 ひとみ (オムロン)	60点	(12試合)
7 白 元 喆 (大同特殊鋼)	80点	(11試合)	7 小野澤 香理 (北国銀行)	59点	(12試合)
8 渡辺 正樹 (湧永製薬)	79点	(14試合)	7 佐藤 由紀恵 (HC名古屋)	59点	(12試合)
8 末松 誠 (大同特殊鋼)	79点	(14試合)	9 菅野 喜恵 (メイプルレッズ)	58点	(13試合)
10 崎前 博章 (トヨタ車体)	74点	(14試合)	10 大前 典子 (メイプルレッズ)	57点	(13試合)
11 桜井 涉 (北陸電力)	73点	(14試合)	11 桂 裕美子 (三重花菖蒲)	56点	(14試合)
12 呉 相 民 (トヨタ紡織九州)	71点	(14試合)	12 水野 恵子 (オムロン)	55点	(12試合)
13 宮崎 大輔 (大崎電気)	67点	(14試合)	12 洪 廷 昊 (オムロン)	55点	(12試合)
14 前田 亮介 (北陸電力)	64点	(14試合)	14 橋本 寛子 (三重花菖蒲)	51点	(14試合)
15 柳本 義文 (ホンダ)	63点	(14試合)	15 長野 かづさ (ソニー)	49点	(13試合)
15 香川 将之 (トヨタ車体)	63点	(14試合)	15 東濱 裕子 (オムロン)	49点	(12試合)
15 原 貴 之 (豊田合成)	63点	(14試合)	15 上町 史織 (北国銀行)	49点	(12試合)

フィールド得点賞

1 神田 友和 (北陸電力)	100点	(14試合)	1 田中 美音子 (ソニー)	90点	(13試合)
2 門山 哲也 (トヨタ車体)	97点	(14試合)	2 郭 惠 静 (ソニー)	87点	(13試合)
3 李 才 佑 (大同特殊鋼)	94点	(13試合)	3 土屋 友美 (メイプルレッズ)	61点	(13試合)
4 大井 守 (ホンダ熊本)	83点	(14試合)	4 佐久川 ひとみ (オムロン)	60点	(12試合)
5 渡辺 正樹 (湧永製薬)	79点	(14試合)	5 小野澤 香理 (北国銀行)	59点	(12試合)
6 崎前 博章 (トヨタ車体)	74点	(14試合)	5 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	59点	(11試合)
6 松本 博文 (ホンダ熊本)	74点	(14試合)	7 大前 典子 (メイプルレッズ)	57点	(13試合)
8 末松 誠 (大同特殊鋼)	73点	(14試合)	8 水野 恵子 (オムロン)	55点	(12試合)
9 東 慶 一 (湧永製薬)	72点	(14試合)	8 洪 廷 昊 (オムロン)	55点	(12試合)
10 白 元 喆 (大同特殊鋼)	69点	(11試合)	10 桂 裕美子 (三重花菖蒲)	53点	(14試合)

シュート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 渡辺 正樹 (湧永製薬)	79点/120射 0.658	1 水野 恵子 (オムロン)	55点/ 66射 0.833
2 崎前 博章 (トヨタ車体)	74点/119射 0.622	2 土屋 友美 (メイプルレッズ)	61点/ 76射 0.803
3 李 才 佑 (大同特殊鋼)	94点/157射 0.599	3 小野澤 香理 (北国銀行)	59点/ 77射 0.766
4 白 元 喆 (大同特殊鋼)	69点/119射 0.580	4 佐久川 ひとみ (オムロン)	60点/ 82射 0.732
5 末松 誠 (大同特殊鋼)	73点/126射 0.579	5 大前 典子 (メイプルレッズ)	57点/ 79射 0.722

7mスロー得点賞

1 原 貴 之 (豊田合成)	30点	(14試合)	1 吉田 祥子 (オムロン)	48点	(12試合)
2 桜井 涉 (北陸電力)	23点	(14試合)	2 千葉 歩 (ソニー)	32点	(13試合)
3 香川 将之 (トヨタ車体)	22点	(14試合)	3 棚原 美幸 (北国銀行)	29点	(12試合)
3 東 慶 一 (湧永製薬)	22点	(14試合)	4 坪井 美帆 (メイプルレッズ)	17点	(13試合)
5 藤山 岳士 (トヨタ紡織九州)	21点	(13試合)	4 金 鎮 順 (メイプルレッズ)	17点	(11試合)

7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 田平 龍太郎 (トヨタ車体)	16本/ 39射 0.410	1 勝田 祥子 (オムロン)	19本/ 42射 0.452
2 名倉 吉彦 (豊田合成)	7本/ 20射 0.350	2 近藤 澄江 (HC名古屋)	14本/ 39射 0.359
3 濱口 靖 (大崎電気)	5本/ 15射 0.333	3 木澤 尚子 (北国銀行)	8本/ 23射 0.348
4 安藤 功規 (北陸電力)	11本/ 35射 0.314	4 橋本 由紀子 (三重花菖蒲)	8本/ 29射 0.276
5 松延 弘樹 (ホンダ熊本)	5本/ 16射 0.313	5 森田 由美 (三重花菖蒲)	8本/ 31射 0.258

第31回日本ハンドボールリーグ成績表

第14週終了 2月11日

順位	男子	大同特殊鋼	湧永製薬	大崎電気	ホンダ	トヨタ車体	トヨタ紡織九州	ホンダ熊本	北陸電力	豊田合成	トヨタ自動車	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大同特殊鋼	29	31	38 37	42	29 35	45 32	42 42	45	40 39	14	14	0	0	28	526	332	194	
2	湧永製薬	24	27	30 22	30	21 32	27 22	20 27	17	11 22	14	12	0	2	24	473	329	144	
3	大崎電気	25 25	25 25	22	33	22 22	26 22	28 17	21	26 11	14	11	0	3	22	468	350	118	
4	ホンダ	30 22	22	27	26 25	28 32	22	33	32 35	29 35	14	9	0	5	18	398	353	45	
5	トヨタ車体	30	33	27 23	32 24	36 31	49	41 46	39 44	42	14	8	0	6	16	497	395	102	
6	トヨタ紡織九州	21 32	22 22	27 30	20 26	31 33	32	33	34	38	14	6	0	8	12	401	426	-25	
7	ホンダ熊本	27 22	26 22	23 17	16	27	31	29 30	27 34	29	14	4	0	10	8	360	444	-84	
8	北陸電力	45 32	34 31	38 30	22	49	32	28 24	32 29	35	14	3	0	11	6	369	470	-101	
9	豊田合成	20 27	28 17	28	26	26 18	31	28 24	32 29	35	14	3	0	11	6	319	471	-152	
10	トヨタ自動車	42 42	35 40	36	33	41 46	33	29 30	23 21	19	14	0	0	14	0	258	499	-241	

順位	女子	オムロン	ソニー	メイプルレックス	北国銀行	H C名古屋	三重花菖蒲	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	オムロン	32 35	35 30 28	27 34	34 41	38 27 34	12	10	1	1	21	395	273	122	
2	ソニー	35 26	23 28 28	21 24	21 17	15 15 20	13	9	0	4	18	429	376	53	
3	メイプルレックス	32 35	38 34 33	28 30 28	23 24	23 27 21	13	8	1	4	17	379	339	40	
4	北国銀行	23 28 28	28 30 37	31 23	32 29 27	24 29	12	7	0	5	14	329	291	38	
5	H C名古屋	35 30 28	28 30 37	26 30	13 18 22	23 19	12	1	2	9	4	225	354	-129	
6	三重花菖蒲	21 24	28 30 28	26 30	33 32	27 31 19	12	0	2	12	2	277	401	-124	

この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。
 同勝点の場合は、1.対戦間勝点 2.対戦間得失点差 3.総得失点差 4.総得点 の多い順で順位付けしています。